

■ 会社の概要 (平成25年9月30日現在)

商 号：株式会社 ノジマ(JASDAQ:7419)

英 文 名：Nojima Corporation

本社所在地：〒220-6126
神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番3号
クイーンズタワーB 26階

設 立：昭和37年4月

資 本 金：43億2,317万円

役 員：●取締役 兼 代表執行役社長 野島 廣司 ●取締役(社外) 星名 光男
●取締役 兼 代表執行役専務 三枝 達実 ●取締役(社外) 松嶋 英機
●取締役 兼 執行役 福田 浩一郎 ●取締役(社外) 梅津 武
●取締役 兼 執行役 鋼島 賢一 ●取締役(社外) 五味 康昌
●取締役 兼 執行役 野島 亮司 ●取締役(社外) 久夢良木 健
●取締役 兼 執行役 金高 英紀 ●取締役(社外) 野村 秀樹
●取締役 兼 執行役 山内 涉 ●執行役 神谷 光治
●取締役 兼 執行役 石坂 洋三 ●執行役 佐藤 丈三
●取締役(社外) 春名 利昭 ●執行役 倉持 昭彦
●取締役(社外) 木村 喬 ●執行役 広瀬 哲夫
●執行役 小鈴 信雄
●執行役 温 盛 元
(平成25年9月30日現在)

従 業 員 数：社員 1,825名 (契約社員・パートタイマー 2,702名)

株主優待のご案内

株主優待券 3月31日及び9月30日現在で議決権を有する株主に対し、「優待割引券(最大10%割引)」を年2回贈呈

贈 呈 基 準 所有株式数100株以上500株未満の株主に対し10,000円分の優待割引券を、同500株以上2,000株未満の株主に対し25,000円分の優待割引券を、同2,000株以上の株主に対し50,000円分の優待割引券を、それぞれ半期毎1回、贈呈します。

利 用 方 法 現金、デビットカード、ノジマジャックスカード、ノジマショッピングクレジットによる支払いの場合には優待割引券の使用により購入金額の10%が割引になります。またクレジットカード、ノジマエポスカードによる支払いの場合には優待割引券の使用により購入金額の8%が割引になります。但し、ノジマオンラインでの購入の場合は後日ノジマオンラインポイントにてポイント返還、または相当額を銀行振込にて割り戻します。詳細については、株主優待券同封書類をご参照ください。

有 効 期 限 ●3月31日発行基準の優待割引券 / 翌年1月31日まで有効
●9月30日発行基準の優待割引券 / 翌年7月31日まで有効

取 扱 店 舗 ●株式会社ノジマの全店舗(詳しくは当社ホームページ(<http://www.nojima.co.jp>)をご参照ください)
●ノジマオンライン
※店舗のない地域にお住まいの株主で、ご優待割引券を使用して、当社の取り扱い商品をお買い求めになりたい方は、ノジマオンラインでのご利用をお勧めします。

株式会社 ノジマ

〒220-6126 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番3号 クイーンズタワーB 26階

TEL.050-3116-1212(代) FAX.050-3116-1250

「投資家のみなさま」専用メールアドレス info@nojima.co.jp

■IR情報Webサイト <http://www.nojima.co.jp/ir/>

IR情報ページでは、決算短信、有価証券報告書等のIR関連資料、株式事務に関する情報といった株主・投資家の皆様のための情報をご覧いただけます。

■ノジマオンライン ホームページURL

■ノジマオンライン本店 PC版 <http://online.nojima.co.jp/>

■ノジマオンライン本店 モバイル版 <http://online.nojima.co.jp/mobile/>

■ 株主メモ (平成25年9月30日現在)

決 算 期 毎年3月31日に決算を行います。

定 時 株 主 総 会 毎年6月に開催いたします。

基 準 日 3月31日

中間配当基準日 9月30日(中間配当を実施する場合)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒100-8212 / 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(お問い合わせ先) 〒137-8081 / 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

公 告 掲 載 電子公告

公告掲載URL
<http://www.nojima.co.jp/ir>

※ やむを得ない事由により電子公告によることのできない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



スポーツを通じ日本を元気に

Nojima

株主のみなさまへ

第52期 中間報告書 平成25年4月1日 ▶ 平成25年9月30日



■ ノジマの志

お客様に
デジタルGS4を普及させ、人類の発展に貢献する。
【Goods・Soft・Support・Service・Solution】
デジタル一番星

■ 全員経営理念

～お客様にさらに信頼されるノジマへ～

- 社会に貢献する経営
- オープンで公正な経営
- 独創的で革新的な経営
- 人間愛がある経営
- 向上心がある経営

■ ごあいさつ P. 2	■ 中間決算の概況 P. 8
■ Q&A P. 3～4	■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書 P. 9
■ トピックス P. 5	■ 配当金の推移 P. 10
■ ノジマのCSR活動 P. 6	■ 四半期数値推移 P. 11
■ 財務ハイライト P. 7	■ 会社の概要・株主メモ P. 11

■ ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、当社第52期（平成26年3月期）の中間報告書をお届けするにあたり、当社グループの業績の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の財政政策をめぐる混乱、欧州の景気動向、中国その他新興国経済の成長鈍化など、海外経済を巡る不確実性はあるものの、政府によるデフレ脱却に向けた政策の効果から、企業収益は大企業を中心に改善傾向にあり、また、雇用・所得環境の改善により個人消費も持ち直しつつある状況です。

家電流通業界におきましては、エアコンを始めとする白物家電の販売が堅調に推移したものの、依然としてテレビ等AV関連商品の需要回復は鈍く、インターネット通販等との競合もあり、厳しい市場環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「デジタル一番星」「お客様満足度No.1」を実現するために、「選びやすい売場」と「お客様の立場に立った接客」を掲げ、従業員の育成並びにコンサルティングセールスやサービスなどの強化に取り組んでまいりました。

店舗展開につきましては、首都圏を中心に7店舗（キャリア認定ショップ1店舗を含む）の新規出店をいたしました。
これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,003億12百万円（前年同四半期比3.2%増）営業利益は24億90百万円、経常利益は32億63百万円（前年同四半期比335.3%増）、四半期純利益は18億54百万円（前年同四半期比334.9%増）となりました。

なお、当第2四半期の業績動向を踏まえ、第52期の中間配当は、当初予想から2円増配とし、1株につき12円とさせていただきます。

今後もグループの総合力を高めながら、株主の皆様のご期待に応えられるよう、更なる販売強化と収益体質の改善に努めてまいりますので、皆様の変わらぬご支援とご指導をよろしくお願いいたします。



代表執行役社長 野島 廣司

Q&A

Q 第52期上期の業績はどうでしたか。

A 家電量販業界におきましては、エアコンや冷蔵庫などの白物家電につきましては、省エネ型の高単価商品を中心に堅調に推移したものの、依然としてテレビ等のAV関連商品の需要回復は遅れていることから、業界全体が伸び悩んでいる状況にあります。

そのような状況下、当社は前期より取り組んできた「選び易い売り場」と「お客様の立場に立ったフィットコンサルの接客」がお客様に支持され、また、在庫のマネジメントやサービス・サポートの拡充等の施策も寄与し、増収増益となりました。

売上高は1,003億12百万円(前年同期比103.2%)、経常利益は32億63百万円(前年同期比435.3%)となりました。

通期の売上は2,100億円(前年同期比105.0%)、営業利益は49億円(前年同期比236.7%)、経常利益は65億円(前年同期比186.6%)を見込んでおります。

なお、客単価の上昇や「コンサルティングセールス」の取り組み、在庫水準の低減化の効果等もあり、売上総利益率は20.1%と、前第2四半期連結累計期間に比べ2.9%の改善を図ることができました。

第52期の中間配当につきましては、上記の業績動向を踏まえ、当初予想から2円増配とし、1株につき12円といたしました。また、期末配当予想につきましても当初予想の10円から12円へと修正しております。これにより、年間配当金は、第51期実績から4円増配の24円となる予定です。

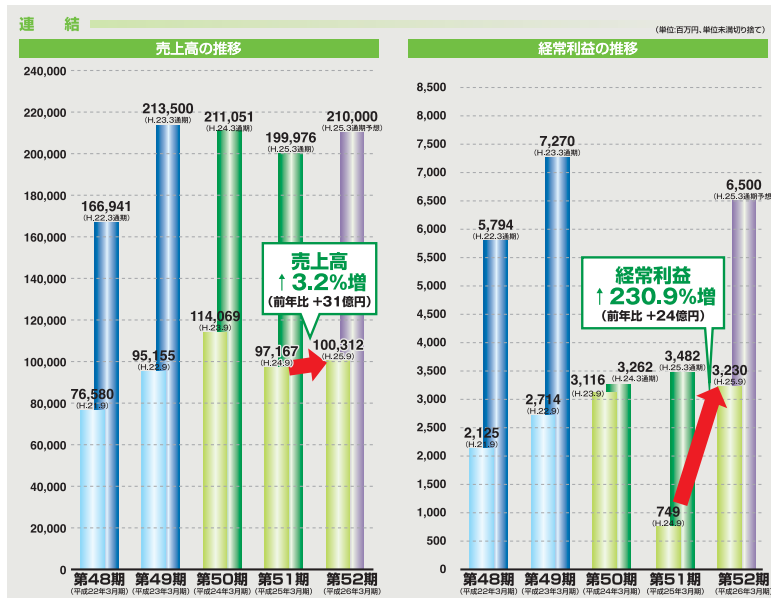
Q 下期の事業展開についてお聞かせください。

A 下期は、政府による金融緩和や各種経済政策を背景として、景気回復に向けた動きが続くものと見込まれ、また、来春からの消費増税が決定したことを受け、直前期には駆け込み需要も予想されます。

このような状況の下、当社は、お客様のニーズに応えるため最大規模の新規出店を行うとともに、在庫適正化の継続、不要な値引きに頼らない販売手法の確立、プライベートブランド「ELSONIC」商品のラインナップ拡充などの取り組みを行ってまいります。

販促面では、モバイル会員の獲得に引き続き注力するとともに、FacebookやTwitterなどのSNSも販促に積極的に活用してまいります。あわせて、女子サッカーチーム「ノジマステラ神奈川」やアメリカンフットボールチーム「ノジマ相模原ライズ」等による地域・社会貢献活動を通じて、当社のイメージアップやブランド力強化を図ってまいります。

一方で、消費増税後の需要の反動減に備え、収益体質の強化にも取り組んでまいります。



Q 下期の出店計画について教えてください。

A 店舗展開につきまして、上期はMARK IS みなとみらい店、イオンタウン守谷店など6店舗及びキャリア認定ショップ1店舗の計7店舗の出店を行いました。横浜・みなとみらい地区に新規開業した話題のショッピングモールなど、各地で注目の商業施設等を中心に出店し、好調な来店客数を維持しております。

下期は、最大規模の新規出店を計画しており、既に10月にはフィールズ南柏店、大宮ステラタウン店を、11月には藤枝水守店、甲府東店をオープンいたしました。消費税増税を控えて高まるお客様のニーズに適切にお応えすることで、成長率No.1を目指してまいります。

MARK IS みなとみらい店(2013年6月21日 オープン)



熊谷ニッソーモール店(2013年5月25日 オープン)



イオンつくば店(2013年3月15日 オープン)

都県別店舗数(ノジマ店舗)
(2013/9末)

所在	店舗数
神奈川県	32
東京都	24
埼玉県	18
千葉県	10
静岡県	12
新潟県	9
茨城県	4
山梨県	4
長野県	1
計	114

都県別店舗数(通信専門店)
(2013/9末)

所在	店舗数
神奈川県	26
東京都	14
埼玉県	13
千葉県	5
静岡県	4
新潟県	1
長野県	1
愛知県	1
香川県	10
愛媛県	6
高知県	2
島根県	3
鳥取県	3
計	89

通信専門店の店舗数は、単独店舗のみを記載しております。

上尾PAPA店(2013年9月14日 オープン)

新所沢パルコ店(2013年9月20日 オープン)

イオンタウン守谷店(2013年9月21日 オープン)

フィールズ南柏店(2013年10月5日 オープン)

大宮ステラタウン店(2013年10月19日 オープン)

藤枝水守店(2013年11月9日 オープン)

甲府東店(2013年11月16日 オープン)

■ノジマのCSR活動

■エコ振興基金

ノジマは、経営理念に「社会に貢献する経営」を掲げ、地域社会との共栄やCSR活動に積極的に取り組んでおります。

当社では、社会貢献活動の一環として、約30年前より、出店している地域の自治体へ省エネ製品や家電等の寄付・寄贈を行ってまいりましたが、本年も、「ポータブルAC電源」と「コンパクトソーラーライト」総額計1,400万円相当を寄贈させていただきました。

両製品とも、災害時の非常用備品として活用できるものであり、これらをご提供することで、地域の皆さまの災害への備えを支援したいと考えております。

ノジマは、今後とも、事業展開させていただいている地域と共に歩み、共に成長・発展できるよう、取り組んでまいります。



静岡新聞(2013.9.10)▲

■「スポーツで日本を元気に!」

ノジマステラ神奈川は、地域・社会貢献活動にも積極的に取り組んでおります。赤い羽根共同募金の街頭募金活動への協力や、地元の河川敷の清掃、地域イベントへの参加等、主に地元神奈川の皆さまとのふれあいを通じた地域・社会貢献を行っております。さらに、ノジマの店舗や、各地でのイベントにおいてサッカー教室を開催する等、神奈川県内のサッカーの裾野を広げるための取り組みも続けております。

また、ノジマがサポートするアメリカンフットボールチーム・ノジマ相模原ライズも、相模原地区の清掃活動や地域のお祭りへの参加など、地域に根差した活動を積極的に行っております。

今後もスポーツを通じて、地域を、日本を元気にできるよう、様々な試みを行ってまいります。



お正月のノジマは「御浄銭」でお客様をお迎えします。

ノジマでは、毎年お正月に、ご来店いただいたお客様への感謝の気持ちと、その年のご幸運をお祈りして、「御浄銭」をお配りしております。

「御浄銭」とは、鎌倉の宇賀神銭洗弁財天のお水でお清めした5円玉のことです。ノジマでは、新年の縁起物として、創業当初よりお正月の店頭でお客様に配布させていただいてまいりました。

本年も、当社スタッフが、丁寧に心を込めてお清めしてまいりました。お正月は、晴着のスタッフが「御浄銭」を手にお待ちしておりますので、ぜひお近くのノジマにお越しください。

(多数のお客様にお越しいただいた場合は、皆さまに行き渡らないこともございますので、予めご了承下さい)



開運御浄銭
「御浄銭」は、鎌倉の宇賀神銭洗弁財天のお水でお清めした5円玉のことです。ノジマでは、創業当初よりお正月の店頭でお客様に配布させていただいてまいりました。

■トピックス

1 カンボジアへの進出を決定!

当社は、東南アジア家電小売市場への本格的進出の一環として、カンボジア王国プノンペン市に現地法人を設立し、店舗展開を図っていくことを決定いたしました。10月28日付で子会社Nojima(Cambodia)Co., Ltd. の設立手続きが完了いたしました。

当社は、先般、ベトナムにて家電小売事業を展開するチャンインデジタルワールド株式会社とも資本業務提携を行いました。ベトナム企業への出資と合わせ、まずは少額での投資で試行錯誤を行い、東南アジア地域での家電販売のノウハウの蓄積を図りながら、同地域への更なる進出の足がかりとしたいと考えております。



ノジマ、カンボジアに進出
首都圏を地盤とする家電量販店のノジマは、カンボジアに進出する。10月を以て100%の出資の現地子会社を設立。2014年夏にもプノンペンに1号店を開く。同社が単独で海外に進出するのは初めて。家電市場の成長が著しい東南アジアで事業拡大を狙う。白物家電やAV(音響・映像)製品、携帯電話などを取り扱う。

日経MJ(2013.7.19)▶

日経MJ(2013.9.13)▶



2 積極的な新卒採用

2013年春、当社は281名の新卒社員を迎えました。

当社は、下期以降、最大規模の新規出店を計画しており、成長率No.1に向け、さらなる積極採用を行ってまいります。

来春2014年4月は400名の新卒社員を採用する計画です。これは、ジャスダックなど新興市場に上場する企業では最も多い採用数となります(2013/10/21付、日経産業新聞より)。

大卒就職率の改善に伴い、優秀な人材の確保は年々厳しさを増しておりますが、引続き採用活動と育成の強化に注力してまいります。



3 「ノジマステラ神奈川」の躍進続く

当社が運営する女子サッカーチーム「ノジマステラ神奈川」は、本年から参戦したチャレンジリーグ(なでしこリーグ2部)にて、4位と健闘いたしました。

また、先般行われた、第35回皇后杯関東地区予選では、並みいる強豪を抑えて優勝することができました。

本年は、ノジマステラ神奈川所属の吉見夏稀選手が、当チーム所属選手としては初めて日本代表(なでしこジャパン)のメンバーに選出されるなど、チーム全体の総合的なレベルアップが図れており、またその活躍が各種メディアで報道・特集されることで、地域における知名度も向上してきております。

来年は、なでしこリーグ(1部)への昇格ラインとなる2位以内を目指して、さらなる飛躍を期しております。



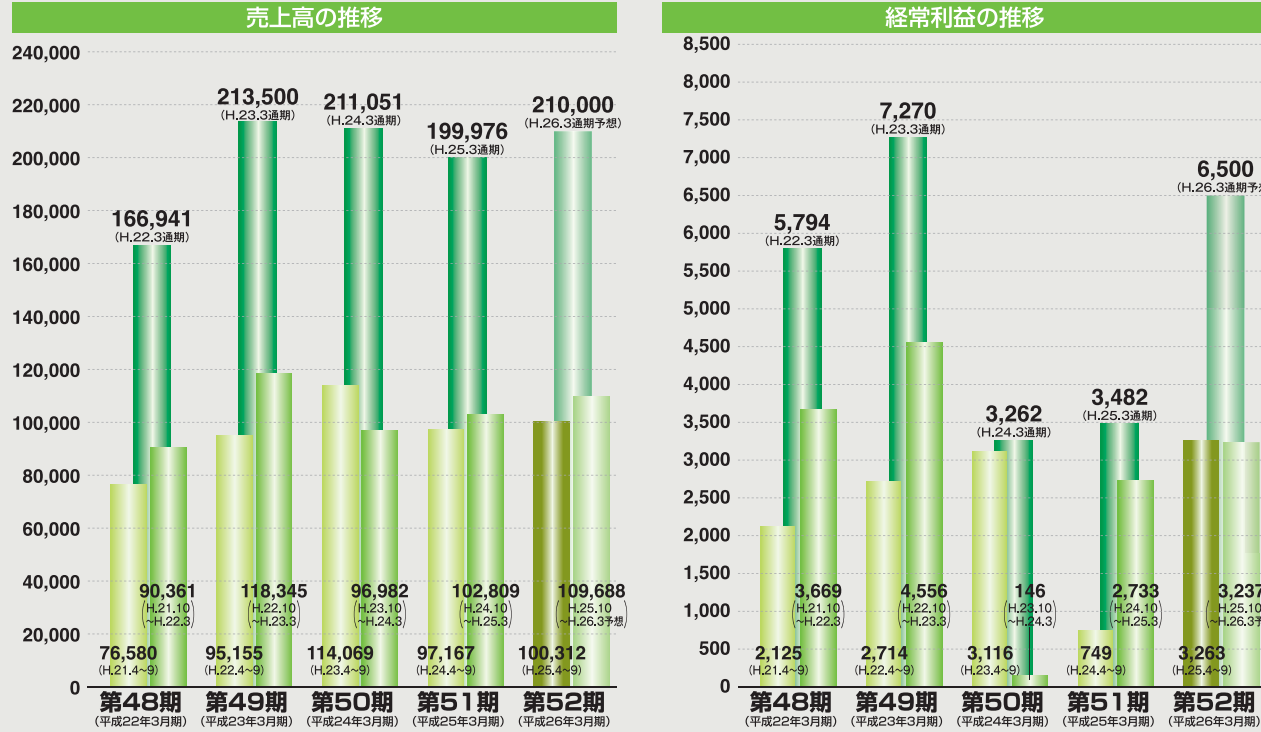
photo by Takano koji

財務ハイライト

(平成25年4月～平成25年9月)

中間連結

■ 売上高 / 1,003億 12百万円 ■ 経常利益 / 32億 63百万円 ■ 純利益 / 18億 54百万円 (単位:百万円、単位未満切り捨て)



(単位:百万円、単位未満切り捨て)

連結	第48期 平成21年9月 (平成22年3月通期)	第49期 平成22年9月 (平成23年3月通期)	第50期 平成23年9月 (平成24年3月通期)	第51期 平成24年9月 (平成25年3月通期)	第52期 平成25年9月 (平成26年3月通期予想)
売上高	76,580 (166,941)	95,155 (213,500)	114,069 (211,051)	97,167 (199,976)	100,312 (210,000)
経常利益	2,125 (5,794)	2,714 (7,270)	3,116 (3,262)	749 (3,482)	3,263 (6,500)
純利益	1,975 (4,629)	1,769 (3,708)	1,809 (2,119)	426 (1,848)	1,854 (3,500)
1株当たり純利益(円)	102.27 (243.41)	94.66 (198.16)	96.34 (111.81)	22.39 (96.96)	96.85 (182.81)
総資産	48,080 (59,836)	60,564 (64,054)	59,168 (65,688)	61,095 (70,631)	67,709 (—)
純資産	15,121 (17,218)	18,849 (20,678)	22,342 (22,405)	22,723 (24,088)	25,917 (—)

中間決算の概況

(平成25年9月30日現在)

連結

貸借対照表(中間) 平成25年9月30日現在。第51期は平成25年3月31日現在。

	第51期	第52期 (中間)
資産の部		
現金及び預金	5,180	6,404
受取手形及び売掛金	15,574	10,404
たな卸資産	17,528	18,783
その他	6,358	5,095
貸倒引当金	▲1	▲0
流動資産合計	44,640	40,688
建物及び構築物	7,182	7,277
土地	7,993	7,993
その他	1,849	2,662
有形固定資産合計	17,025	17,932
無形固定資産合計	926	858
敷金及び保証金	6,015	6,215
その他	2,056	2,033
貸倒引当金	▲33	▲19
投資その他の資産合計	8,038	8,230
固定資産合計	25,990	27,021
資産の部合計	70,631	67,709

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

損益計算書(中間) 平成25年4月1日から平成25年9月30日まで。前期は平成24年4月1日から平成24年9月30日まで。

	第51期	第52期 (中間)
負債の部		
買掛金	21,266	17,183
短期借入金	—	620
1年内返済予定の長期借入金	3,246	2,974
1年内償還予定の社債	250	250
未払金	3,033	2,569
未払法人税等	1,446	1,187
ポイント引当金	3,093	2,784
その他	2,656	2,035
流動負債合計	34,993	29,604
社債	125	—
長期借入金	6,752	7,267
販売商品保証引当金	2,240	2,397
退職給付引当金	1,626	1,731
その他	805	791
固定負債合計	11,549	12,187
負債の部合計	46,542	41,792
純資産の部		
資本金	4,323	4,323
資本剰余金	4,284	4,263
利益剰余金	16,172	17,836
自己株式	▲868	▲741
株主資本合計	23,911	25,681
その他有価証券評価差額金	40	83
新株予約権	136	152
純資産合計	24,088	25,917
負債純資産合計	70,631	67,709



中間連結キャッシュ・フロー計算書

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで。前期は平成24年4月1日から平成24年9月30日まで。

営業活動によるキャッシュ・フロー

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

区分	期別	第51期 (中間)	第52期 (中間)
税金等調整前四半期純利益		550	3,235
減価償却費		776	847
減損損失		83	41
退職給付引当金の増加額(▲減少額)		92	105
ポイント引当金の増加額(▲減少額)		57	▲308
販売商品保証引当金の増加額		123	157
受取利息及び受取配当金		▲19	▲23
支払利息		66	62
投資有価証券評価損(▲益)		58	▲10
売上債権の減少額(▲増加額)		3,832	5,170
たな卸資産の減少額(▲増加額)		3,264	▲1,255
未収入金の増加額		862	1,139
仕入債務の増加額(▲減少額)		▲5,617	▲4,083
その他		▲373	▲957
小計		3,758	4,121
利息及び配当金の受取額		20	31
利息の支払額		▲68	▲65
法人税等の支払額又は還付額(▲支払)		839	▲1,366
営業活動によるキャッシュ・フロー		4,549	2,721

投資活動によるキャッシュ・フロー

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

区分	期別	第51期 (中間)	第52期 (中間)
有形固定資産の取得による支出		▲4,929	▲1,605
無形固定資産の取得による支出		▲675	▲202
差入敷金及び保証金の差入による支出		▲129	▲368
差入敷金及び保証金の回収による収入		85	47
その他		▲10	▲163
投資活動によるキャッシュ・フロー		▲5,658	▲2,292

財務活動によるキャッシュ・フロー

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

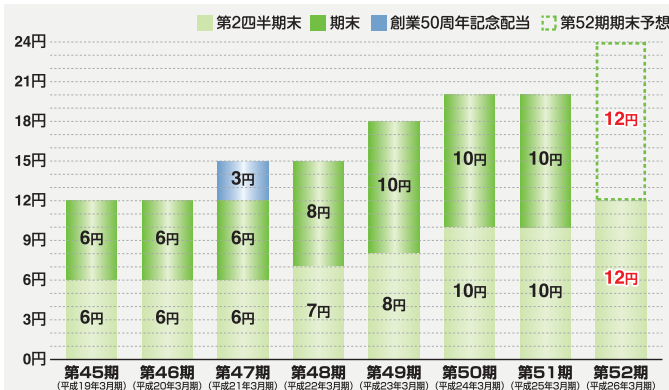
区分	期別	第51期 (中間)	第52期 (中間)
短期借入金純増減額(▲は減少)		2,500	620
長期借入による収入		—	2,000
長期借入金の返済による支出		▲1,241	▲1,756
社債の償還による支出		▲125	▲125
配当金の支払額		▲191	▲191
その他		58	102
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,001	649

現金及び現金同等物の増額

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

区分	期別	第51期 (中間)	第52期 (中間)
現金及び現金同等物期首残高		3,759	5,115
現金及び現金同等物四半期末残高		3,651	6,189

配当金の推移



当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと位置づけた上で、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保を勘案し、継続して安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

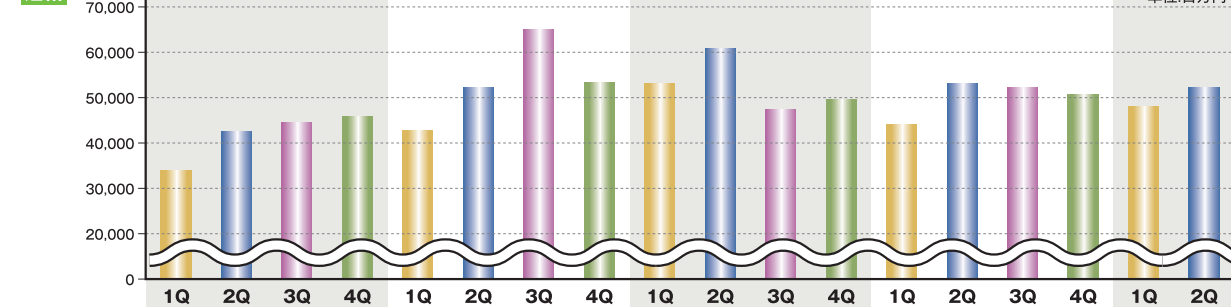
また、当社は、第2四半期末と期末の年2回の剰余金の配当を行うことも基本方針としております。

第52期の中間配当金につきましては、業績動向を踏まえ、1株につき12円とすることといたしました。また、期末配当予想につきましても12円に修正することといたしました。これにより、年間配当金は、第51期実績から4円増配の24円となる予定です。

四半期数値推移

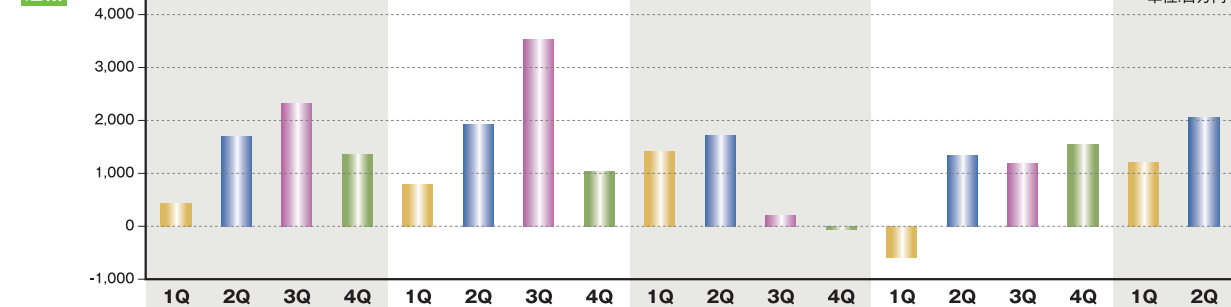
売上高

連結



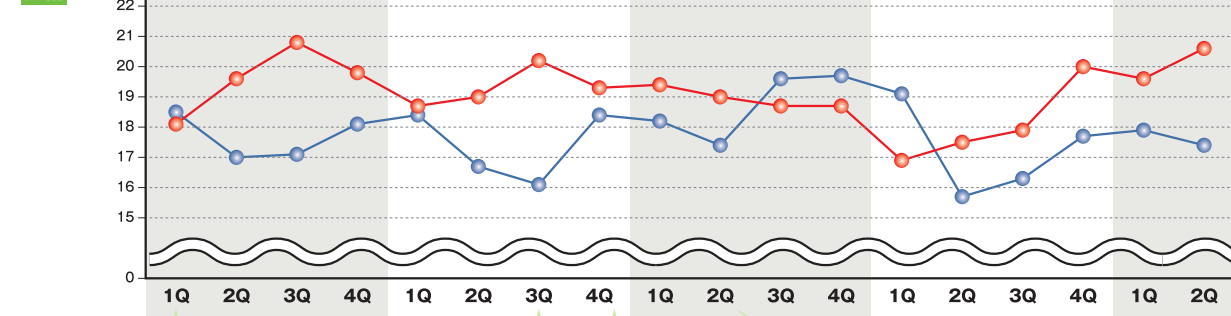
経常利益

連結



売上総利益率・販管費比率

連結



平成21年5月
家電エコポイント制度スタート

平成22年12月
家電エコポイント半減

平成23年3月
家電エコポイント終了

平成23年7月
アナログ停波・地デジ化